

R6年度【更新研修（2日目）】サービスの質の向上と人材育成のためのスーパービジョンに関する講義及び演習（6時間）

番号	標準カリキュラム	時間	所要	学習内容		形態	役割分担	手順の詳細、指導・評価上の留意点 ※緑の字は財団用です。
				内容	使用する教材・ツール		GFT	
	案内	8:55 ～9:00	5分	案内	配布資料	全体	-	財団より配布物の確認。事前課題②の交換をさせる。講師を紹介する。
1	サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者としてのスーパービジョン（講義）180分	9:00 ～9:05	5分	・研修のねらい ・到達目標	資料：講義資料①	全体	-	
2		9:05 ～10:15	70分	スーパービジョンとは	資料： ●講義資料① ●研修ワークシート（P.1）	全体・ 個人 ワーク	-	講義によるスーパービジョンの基礎を学ぶ 1）講義 2）自己覚知ワーク ※ペアワークがあるため、奇数グループの場合は、調整必要。 3）まとめ
		10:15 ～10:25	10分	休憩				
3		10:25 ～11:25 (11:15 ～11:25 は休憩とする)	60分	傾聴を基本としたスーパービジョンの展開	資料： ●講義資料② ●研修ワークシート（P.2）	全体・ GW (3人1組)	講師控室に集合（10:30） ・財団・講師からの情報共有（まとめの実施方法について共有） ・事前課題シート②（受講者提出分）の共有・読み込み ・11:20～研修室へ移動	傾聴を基本としたスーパービジョンの展開を学ぶ 1）講義（15分） 2）傾聴ワーク（3人1組 30分）⇒①反応なし（2分）⇒②技法による反応（5分）⇒③振り返り（3分）計10分×3回 ※タイムキーパー、進行は講師が行う ※3人ワークのため、奇数グループの場合は、調整必要。 3）共有タイム・まとめ（15分）※実質は5分程度で10分休憩をとる ⇒講師が1～2組当てて発表させる⇒まとめ
4		11:25 ～12:10	45分	事例を活用したスーパービジョン（事例選定）	資料： ●講義資料③ ●研修ワークシート（P.3） ●事前課題シート②（受講者6名分持参）	全体・ GW	2）⇒進行・タイムキーパー 3）⇒事前に課題に目を通し、自薦、他薦がなかった場合の課題を決めておく	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 演習の目的: 事例を通じて、支援のあり方、支援方針、支援の内容を検討し、優良な点や改善が必要な点について、グループワークで明確化することによってスキルアップを図る。 また事例について、スーパーバイズを体験する。 </div> ※5分前にはグループに着席し、各自でグループに自己紹介をしてください。 ※声が聞こえづらい等があれば、グループ内で椅子の移動など各自行ってください。 ※事前課題シート②については朝のご案内で、受講者同士で交換してもらってます。 事例発表と事例選定の流れ 1）事例検討とスーパービジョンの解説（5分） 2）事例発表（30分）⇒1人5分×6人 ※あくまで事例の内容よりも提出理由（自身が困っていること）を中心に発表させる。 3）事例の選定 ⇒選定方法（①自薦 ②他薦 ③GFTが決める） →事例が早く決まったグループは、事例の読み込みと質問事項を考える時間とする。 ※昼休憩中に決まった事前課題の読み込み、質問事項を考えておくよう促して休憩に入る。 ※お昼休憩に入る際は、財団から案内する。
		12:10 ～13:00	50分	昼食休憩				研修再開前に午後の研修に関する打合せをする可能性があります。

R6年度【更新研修（2日目）】サービスの質の向上と人材育成のためのスーパービジョンに関する講義及び演習（6時間）

番号	標準カリキュラム	時間	所要	学習内容	使用する教材・ツール	形態	役割分担	手順の詳細、指導・評価上の留意点 ※緑の字は財団用です。
				内容			G F T	
5	事例検討のスーパービジョン（演習）60分	13:00 ～14:10	70分	事例を活用したグループスーパービジョン（演習）	資料： ●講義資料③ ●研修ワークシート（P.4） ●事前課題シート②（選定した1名分） 使用物品： ●模造紙1枚 ●付箋 ●マジックペン（受講者持参） ●太マジック（財団が準備）	全体・GW	司会・進行	<div>演習の目的： 事例を通じて、支援のあり方、支援方針、支援の内容を検討し、優良な点や改善が必要な点について、グループワークで明確化することによってスキルアップを図る。 また事例について、スーパーバイズを体験する。</div> <p>1) 事例の提示と明確化（10分） ⇒ ①事例の提出理由、どのようなフィードバックがほしいか発表する（事例課題提出者）</p> <p>2) 以降は別紙「01 事例を活用したSV（ステップ②③）の進め方（GFT用）」を参照のこと。</p> <p>2) 課題の整理（20分） 3) 今後の方向性についての検討（15分） 4) 演習後の振り返り（5分） 5) グループディスカッション（10分）</p> <p>※付箋に記入する際は、受講者にマジックペンを持ってくるように言っていますので、見やすくするためにマジックで記入するようお願いください。 ※太いマジックを配りますので、意見のグルーピングやタイトル記入に使用してください。 ※演習が終わった後の模造紙を持ち帰りたい方がいれば、グループで許可をとり持って帰ってもらってOK。撮影もOK。</p>
		14:10 ～14:20	10分	休憩				
6	サービス提供職員等へのスーパービジョン（演習）120分	14:20 ～16:20	120分	サービス提供職員等へのスーパービジョン	資料： ●講義資料④ ●研修ワークシート（P. 5～11） 使用物品： ●マーカーペン（受講者持参） ●A3用紙（今田さん、大泉さん場面・流れの構成シート）	全体・GW	進行管理 ※司会・書記は受講者 ※タイムキーパーは講師	<div>演習の目的： 職員等へ実施するスーパービジョンの構造や機能を理解し、具体的な技術を獲得する。</div> <p>1) 個人ワーク（5分） ⇒ ①シナリオの読み込み（研修ワークシートP.6）※マーカーを引く 2) グループワーク（60分） ⇒ ①司会・書記決め（約1分）→ ②1)のワークの発表（10分）→ ③人物像の設定（5分）→ 場面・流れの構成作り、 気づけてほしいことの洗い出し（個人）（5分）→ ④グループ共有（40分） ※③の際、A3用紙に今田さん、大泉さんそれぞれの人物像などを書記が記入する→ ロールプレイを担当する人に渡す ※2)が終わったら休憩（10分）を各グループにてとってください。 3) ロールプレイ①（8分） ⇒ ①配役決め（1分）→ ②ロールプレイ開始（7分） 4) 振り返りタイム①（10分） ⇒ ①個人ワーク（3分）→ ②グループでの共有（7分） 3)・4)を2回実施 5) 全体発表（15分）</p>
		16:20 ～16:30	10分	休憩				自己検証シートの返却する。アンケート回答を促す。
7	研修のまとめ（演習）60分	16:30 ～17:30	60分	2日間を通してのまとめ・振り返り	資料： ●講義資料⑤ 使用物品： ●付箋	全体・GW	司会・タイムキーパー	<p>※自己検証シートの受け取りを促す案内をお願いします。</p> <p>1) 導入・説明（2分） 2) 個人ワーク（12分） 3) グループワーク（25分）⇒ 1人2分で発表→ 2分でそのほかの参加者が発表者に対して付箋を書き、直接発表者に渡す （発表はしない）× 6回繰り返す ※GFTの方は、全体発表の際の発表者を決めておく。 4) 全体発表（15分）⇒ 講師がグループをあて、あてられたグループのGFTは事前に決めておいた発表者に発表を振る→ 発表する時間がある限り、いろいろなグループを当てて発表。 5) まとめ（3分）</p>
8	-	17:30 ～17:40	10分	・財団からの案内 ・修了証書授与について	-	全体	修了証書をグループ受講者へ授与	※終了後、講師、財団、GFTで30～60分程度の振り返りを実施する。

R6年度【更新研修（2日目）】サービスの質の向上と人材育成のためのスーパービジョンに関する講義及び演習（6時間）

番号	標準カリキュラム	時間	所要	学習内容		形態	役割分担		手順の詳細、指導・評価上の留意点
				内容	使用する教材・ツール		G	F	T

番号5 事例検討のスーパービジョン(演習)60分の予定時間

スーパービジョンの流れ



- ※注意事項
- ・名札はつけてください。
 - ・1日目のGFTには引継ぎ書を記入してもらっていますので、グループの状況の確認をお願いします。
 - ・名簿と事前課題以外の資料についてはお持ち帰りいただいて結構で